

六戸町下水道事業経営戦略
概要版

1.経営戦略改定の趣旨、計画期間

【改定の趣旨】

我が国においては、今後、急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や施設の老朽化による更新需要の増大等、公営企業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増す状況にあります。

各公営企業が将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくためには、公営企業会計の適用拡大や経営比較分析表を活用した「見える化」による現状分析に基づく経営戦略の策定や抜本的な改革等の取組を通じ、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められています。

【計画期間】

中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるように、「投資・財政計画」の期間は10年以上を基本とすることから、令和7年度から令和16年度までの10年間とする。

2.現状と課題

【現状と課題】

① 使用料収入は減少傾向

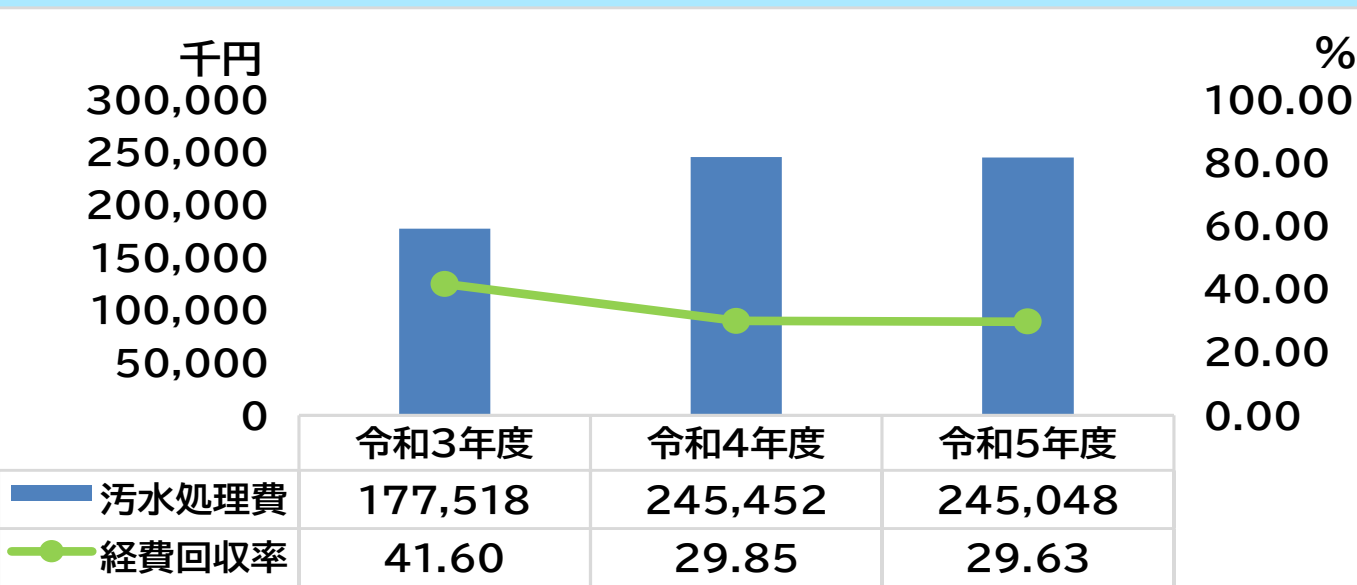
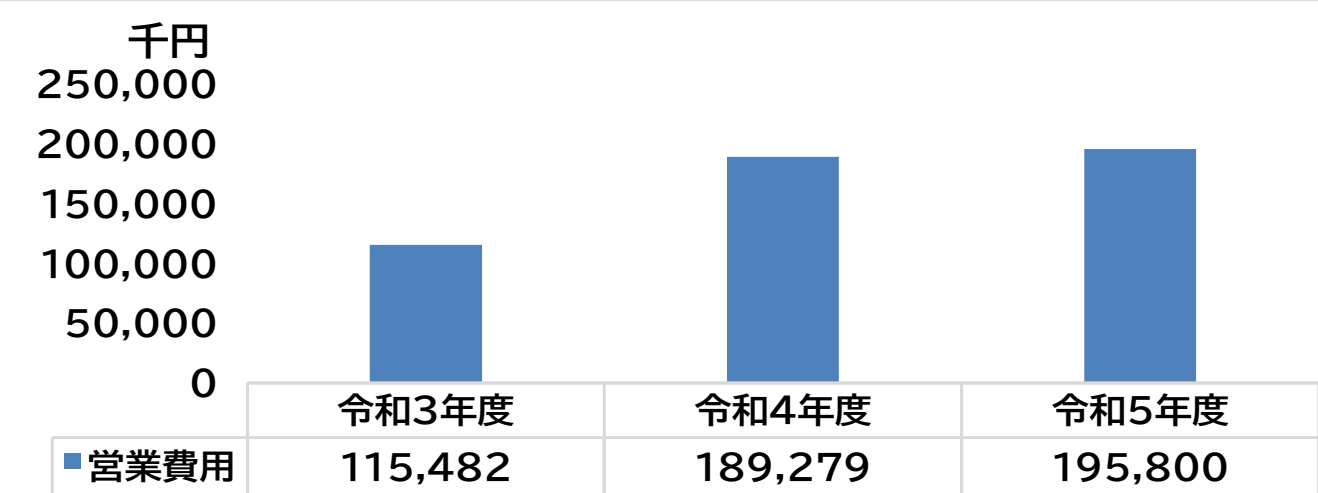
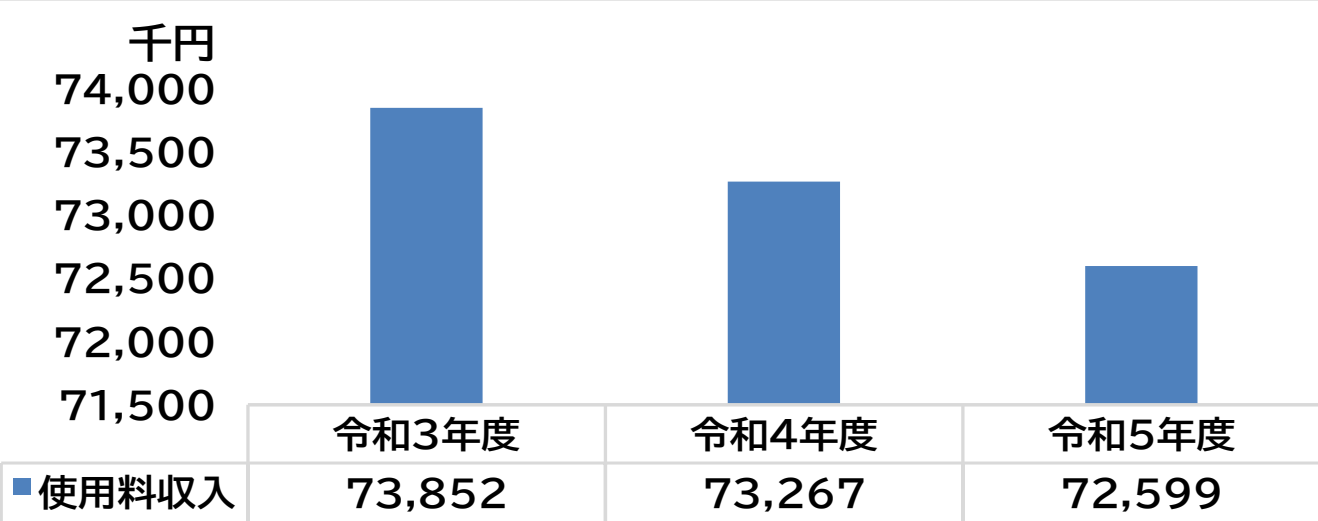
処理区域内人口の減少に伴い、使用料収入は減収となっています。水洗化率向上による増収も厳しい見込みであり、今後は使用料改定を検討する必要があります。

② 営業費用は増加傾向

物価高の影響による汚水処理費の増加などにより、営業費用は増加傾向にあります。

③ 公営企業会計への対応

令和6年度より公営企業法を適用し、公営企業会計による会計制度へ移行しました。今後は減価償却費や長期前受金戻入といった企業会計への対応が必要となります。



3.将来事業予測

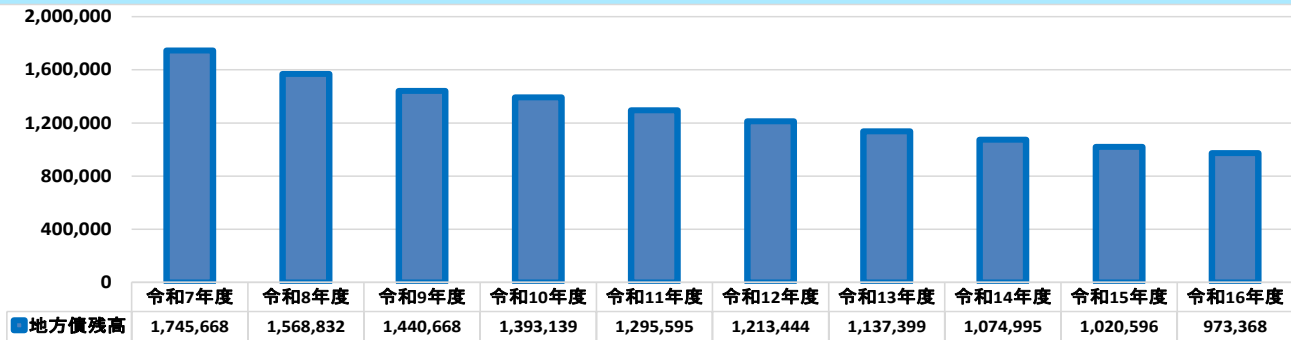
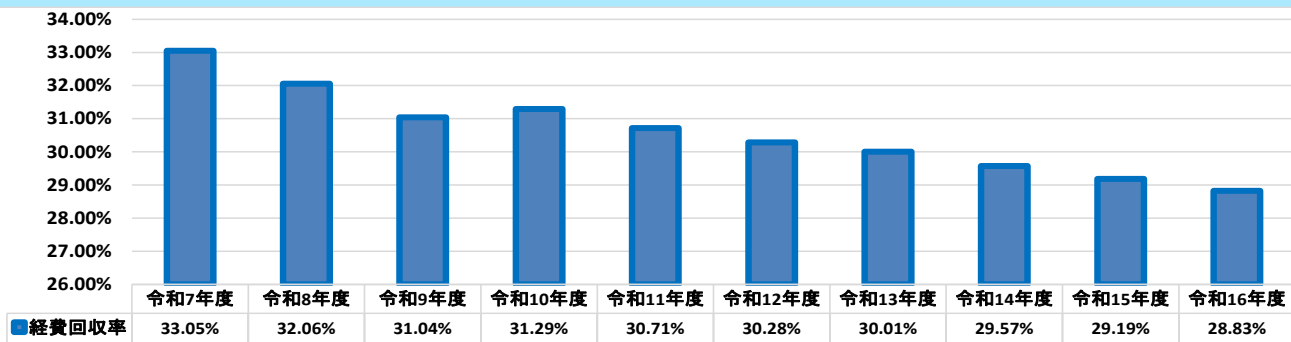
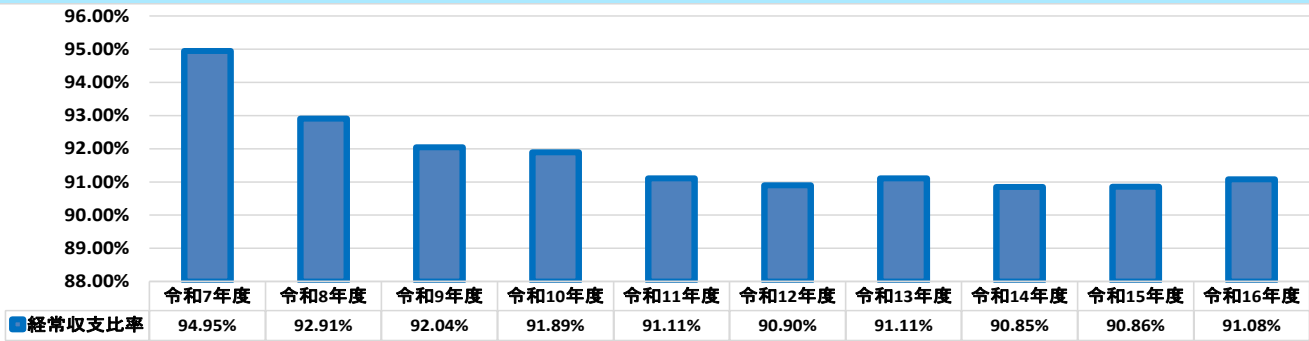
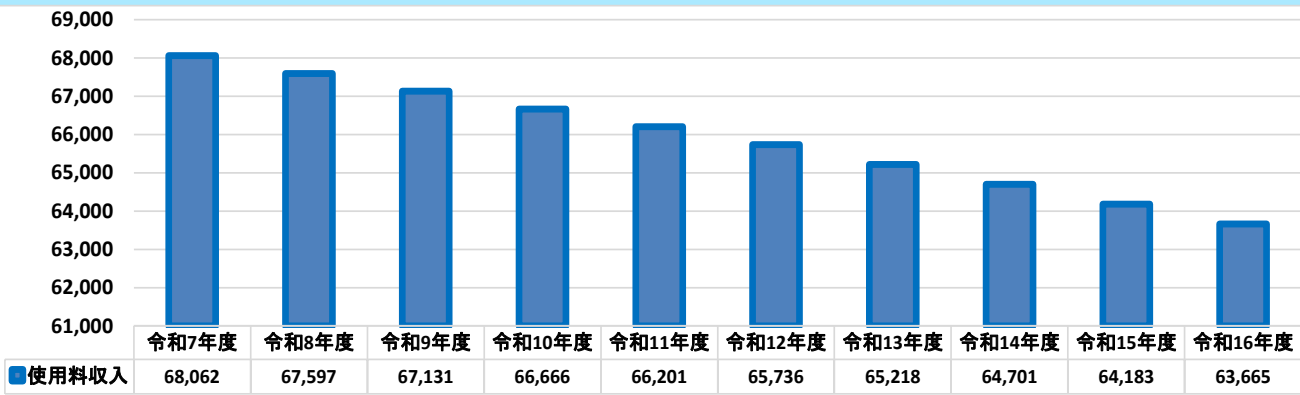
【将来の予測】

●使用料収入
人口の減少に伴い令和16年度には令和7年度と比較して約4,400千円の減収。

●経常収支比率
令和7年度以降は計画期間中90%以上を維持。

●経費回収率
令和14年度以降は30%を下回り、以降も減少傾向。

●企業債残高
地方債償還が進み、令和16年度には令和7年度と比較して約772百万円の減少。



4.実施目標

■全事業
経常収支比率100%以上
経費回収率51%以上

年度	経常収支比率	経費回収率
令和4年度	現状値:83.51%	現状値:29.85%
令和5年度	現状値:101.46%	現状値:29.63%
令和11年度	中間値:95.67%	中間値:41.46%
令和16年度	目標値:101.08%	目標値:51.47%

5.具体的な取組

【具体的な取組】
○使用料改定の必要性の検討と実施

令和7年度に下水道使用料の在り方を検討し、令和8年度及び令和12年度に段階的に下水道使用料の改定を予定します。

○経営推進体制
建設下水道課が事務局となり「住民説明会の実施」や議会に対し意見等を求め推進します。

年度	収益確保の活動	経費削減の活動
令和7年度	使用料改定の検討・効果検証	コスト効率化、投資の平準化に向けた検討
令和8年度	使用料改定	
令和9年度		
令和10年度		
令和11年度	使用料改定の検討・効果検証	
令和12年度	使用料改定	
令和13年度		
令和14年度		
令和15年度		
令和16年度		